

札幌市の特別支援教育における学習環境の構築と多様なニーズに応じた支援方法の開発

背景

札幌市教育委員会では、特別支援教育を充実するため、特別支援教育巡回相談員を配置して、各校の特別支援教育コーディネーターを支援するとともに、特別な教育的支援を必要とする子どもの困りの把握や、それに基づく個別の指導計画の作成などをサポートする事業における資料を必要としている。

札幌市は肢体不自由支援学校に医療専門職が配置されているが、知的障害支援学校や支援学級、通級指導教室や通常学級での支援ニーズが高く、医療専門職など他機関との連携や近隣の医療機関との連携の方法を検討する必要がありそのシステムを構築するための基礎的資料を必要としている。

研究目的

札幌市の、巡回相談員や医療専門職等の学校に配置している専門職についてその利用状況や効果を検証し、学校の支援体制及び校外との連携体制の強化に取り組むための課題を明らかにする。また、発達障害児の教育・支援方法に関する臨床的研究を進めることにより、関係者の連携内容や役割等を明確化し、特別支援教育の幅広いニーズに対応できる教育資料等を提供する。

研究課題

- 特別支援教育巡回相談員配置事業の事例検討
- 医療専門職の活用状況と支援ニーズ
- 発達障害児の教育・支援方法に関する臨床的研究
- 発達性ディスレクシアの早期把握と支援方法
- 自閉症スペクトラム障害の視線研究と支援方法
- ICTを活用したユニバーサルな授業
- 発達性協調運動障害の実態調査と支援方法
- 特別支援教育の推進に関わる総合的検討

研究計画

- 1 巡回相談員及び医療専門職を活用した学習環境の最適化
 - ① 特別支援教育巡回相談員配置事業の事例研究
 - ② 医療専門職の活用状況と支援ニーズの調査
- 2 発達障害児の教育・支援方法に関する臨床的研究
 - ① 発達性ディスレクシア (dyslexia) の早期把握と支援方法の開発
 - ② 自閉症スペクトラム障害 (ASD) の視線研究と支援方法の改善
 - ③ ICTを活用したユニバーサルな授業の検討
 - ④ 発達性協調運動障害 (DCD) の実態調査と支援方法の開発
- 3 札幌市における特別支援教育の総合的検討

研究実施体制

研究代表者	安井友康 教授 (札幌校)
研究分担者	齊藤真善 准教授 (札幌校) 池田千紗 准教授 (札幌校) 山下公司 准教授 (札幌校) 千賀 愛 准教授 (札幌校) 川俣智路 准教授 (教職大学院) ふじのめ学級教員 (附属小中学校)

研究成果 (予定)

- 特別支援教育コーディネーター等が活用できる事例集の作成
- ICTを活用したデジタル教材の作成
- 研究成果に関する成果についての公表(各種学会)
- 特別支援教育プロジェクトwebサイト(ほくとくネット)での配信